

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の詳細で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

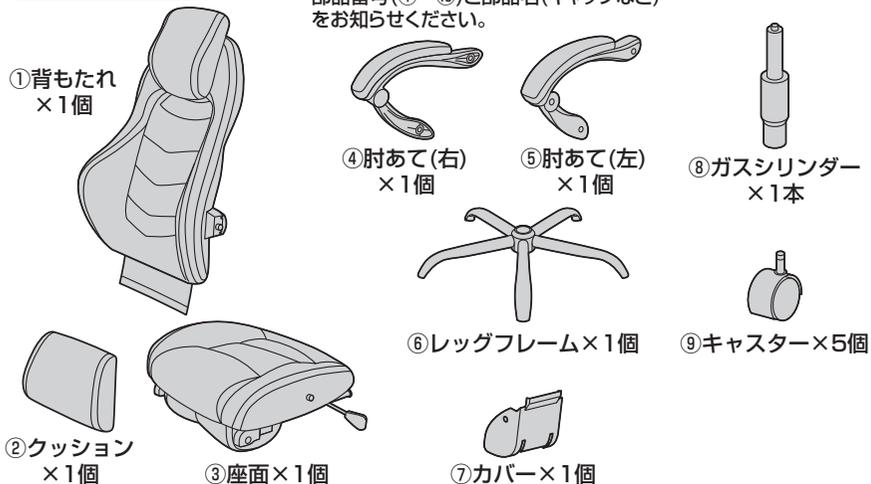
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします）

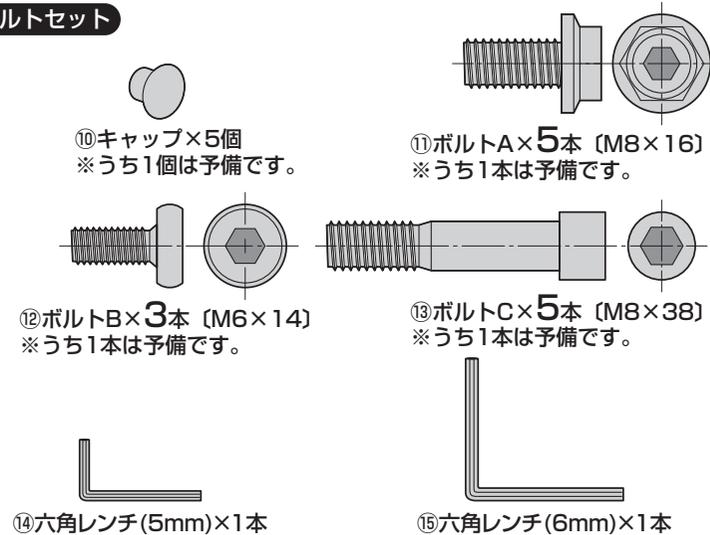


組立て部品

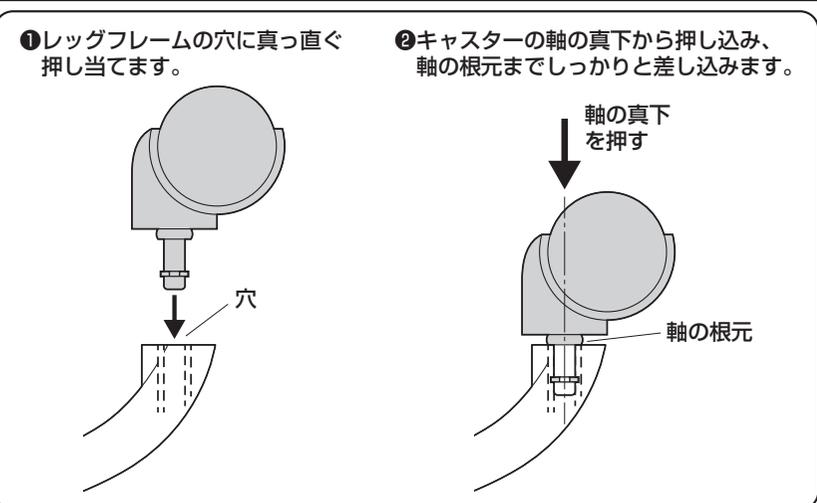
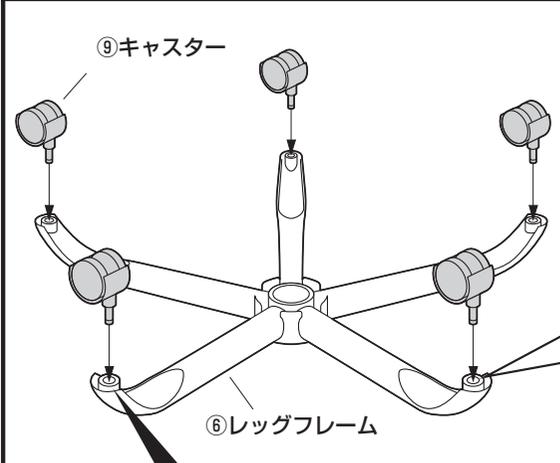
※部品の欠品や破損があった場合は、
品番(150-SNCL003など)と下記の
部品番号(①~⑬)と部品名(キャップなど)
をお知らせください。



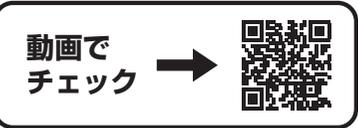
ボルトセット



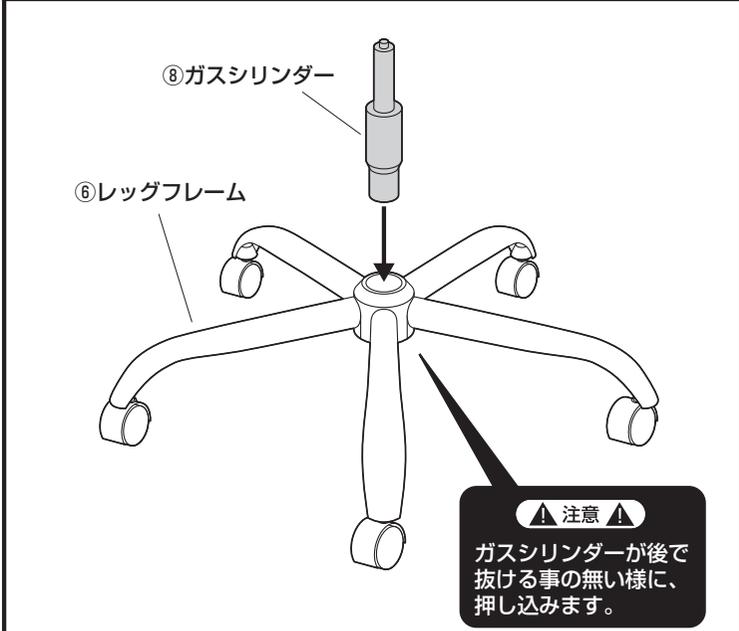
1 レッグフレームをひっくり返し、キャスターを取付けます。



▲ 注意 ▲
それぞれのキャスターは全て
圧入式です(手ではめこむ)。
奥まできちんと差し込んでく
ださい。



**2 レッグフレームにガスシリンダーを
差し込みます。**



▲ 注意 ▲
ガスシリンダーが後で
抜ける事の無い様に、
押し込みます。

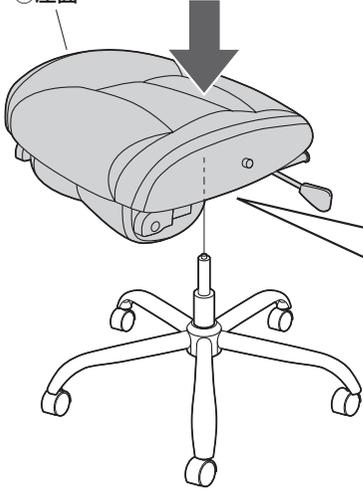
3

座面にガスシリンダーを差し込みます。

▲注意▲

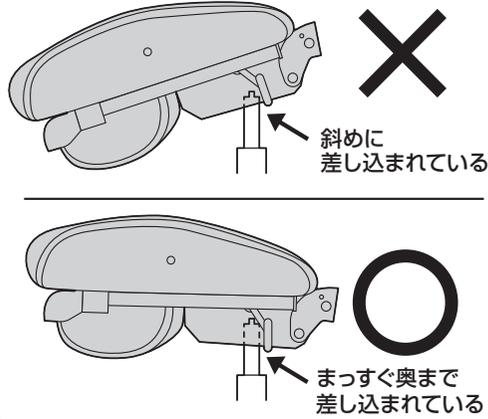
この作業は大人2人以上で行ってください。

③座面



▲注意▲

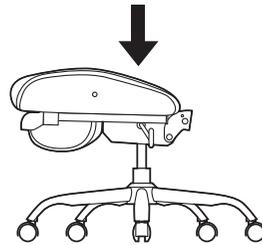
座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面が斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかりと体重をかけてください。

※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

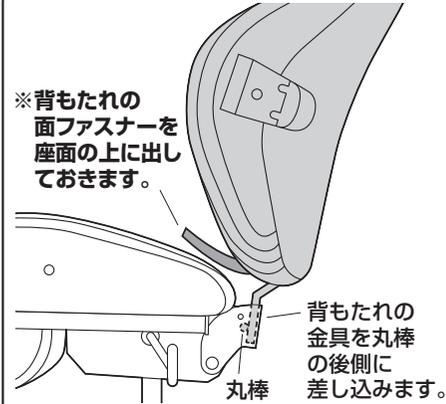
3回座って押し込む



4

座面に背もたれを取付けます。

※背もたれの面ファスナーを座面の上に出しておきます。



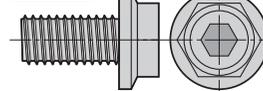
※背もたれを差し込んでからボルトAをゆるめに付けます。

①背もたれ

背もたれの金具を丸棒の後側に差し込みます。

丸棒

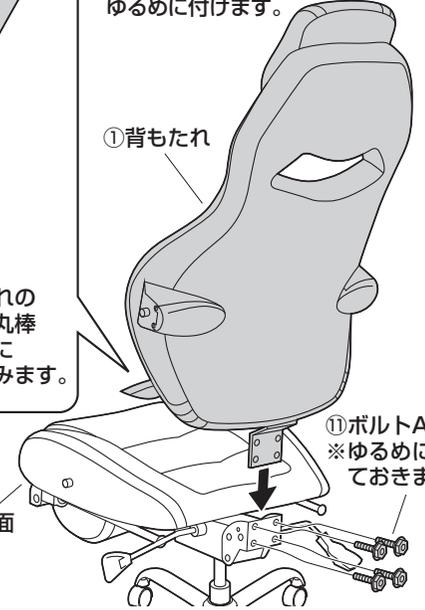
使用ボルト



①ボルトA【M8×16】

③座面

①ボルトA ※ゆるめに付けておきます。



5

肘あてを取付けます。

使用ボルト



⑬ボルトC【M8×38】

⑬ボルトC ※六角レンチ(6mm)で締め付けます。

⑤肘あて(左)



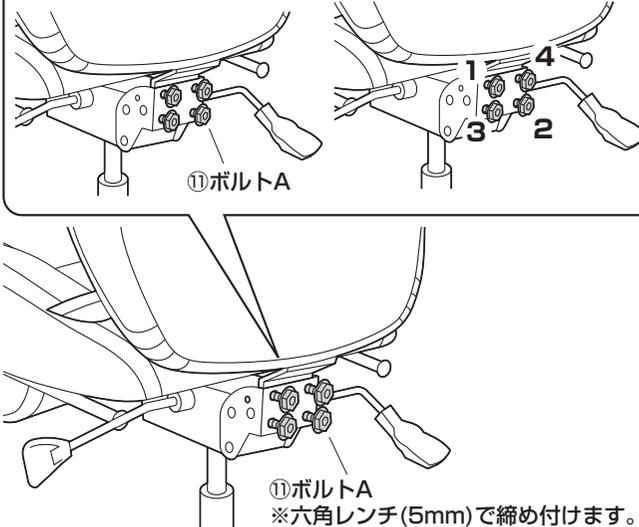
※同様に反対側の肘あて(右)も取付けます。

6

緩めに止めていたボルトAを締め込みます。

①すべてのボルトAを均等に少しずつ締め込みます。

②下図の1,2,3,4の順にきつく締めつけます。



①ボルトA

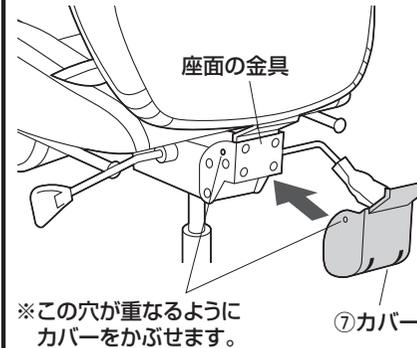
①ボルトA ※六角レンチ(5mm)で締め付けます。

7

座面の金具にカバーを取付けます。

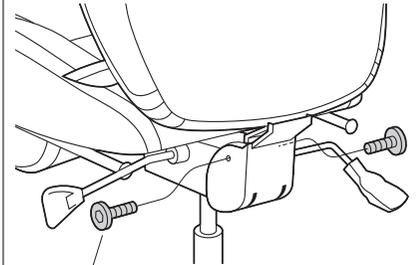
①座面の金具にカバーをかぶせます。

②ボルトBで固定します。



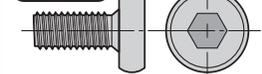
※この穴が重なるようにカバーをかぶせます。

⑦カバー



⑫ボルトB ※六角レンチ(5mm)で締め付けます。

使用ボルト

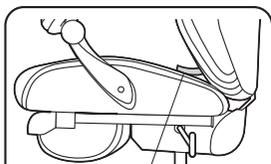


⑫ボルトB【M6×14】

8

背もたれの面ファスナーを座面の裏側に付けます。

①座面に座り、背もたれを倒します。



背もたれの面ファスナーを踏まないように座ります。

⚠ 注意 ⚠

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



背もたれ角度調節レバー
※矢印の方向にレバーを倒しながら後に体重をかけ、背もたれが水平になるまで倒します。

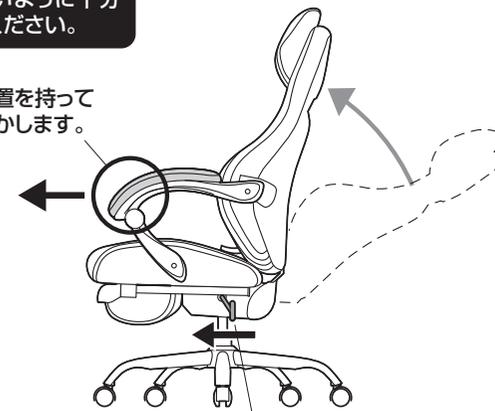
②座面から降り、背もたれの面ファスナーを座面の裏側に付けます。

座面と背もたれの間
に面ファスナーを通します。座面裏側の面ファスナー
に付けます。

③再度座面に座り、肘あてを矢印の方向に動かして背もたれを起します。

⚠ 注意 ⚠

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。

肘あて
※この位置を持って前に動かします。

※矢印の方向にレバーを倒しながら肘あてを前に動かし、背もたれを起します。

9

肘あてにキャップを取付けます。



⑩キャップ

※同様に反対側にもキャップを取付けます。

10

クッションを載せて完成です。



②クッション

オットマンの使用方法

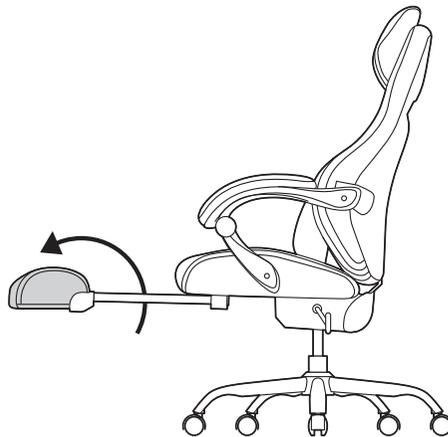
①座面の下からオットマンを引き出します。

▲ 注意 ▲

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



②オットマンを180°回転させます。



チェアの品質表示

構造部材：座部/合板、スチール 背もたれ部/合板
脚部/スチール キャスター部/ナイロン
張り材：メッシュファブリック クッション材：ウレタンフォーム

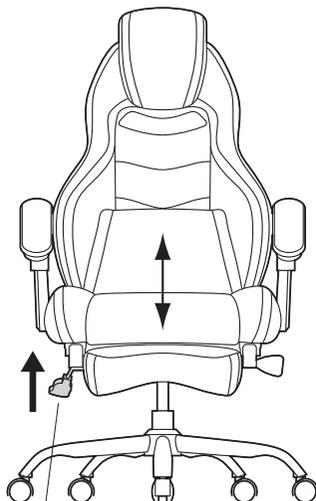
▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

座面の高さ調節方法

▲ 注意 ▲

レバーを操作してガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面を差し込み直してください。

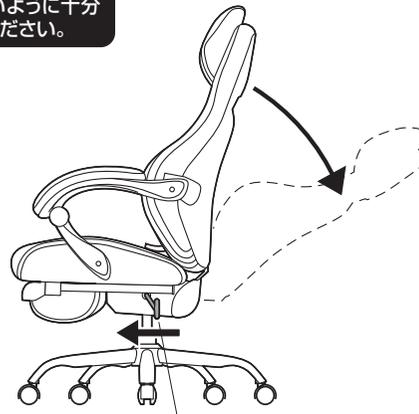


レバーを引き上げると座面の高さ調節ができます。

背もたれの倒し方

▲ 注意 ▲

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



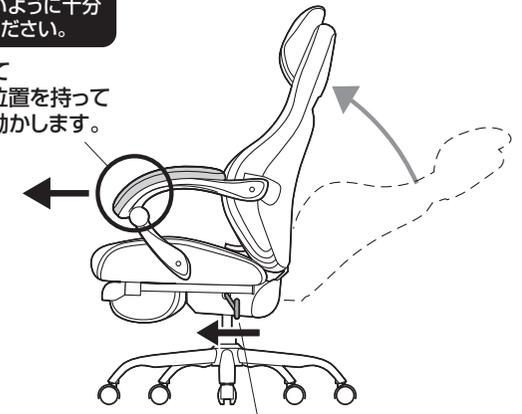
背もたれ角度調節レバー
※矢印の方向にレバーを倒しながら後に体重をかけ、背もたれを倒します。
レバーをはなすと、任意の角度で固定できます。

背もたれの起こし方

▲ 注意 ▲

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。

肘あて
※この位置を持って前に動かします。



※矢印の方向にレバーを倒しながら肘あてを前に動かし、背もたれを起します。
レバーをはなすと、任意の角度で固定できます。